

**コンゴ(民)経済情勢  
月例報告  
2016年9月**

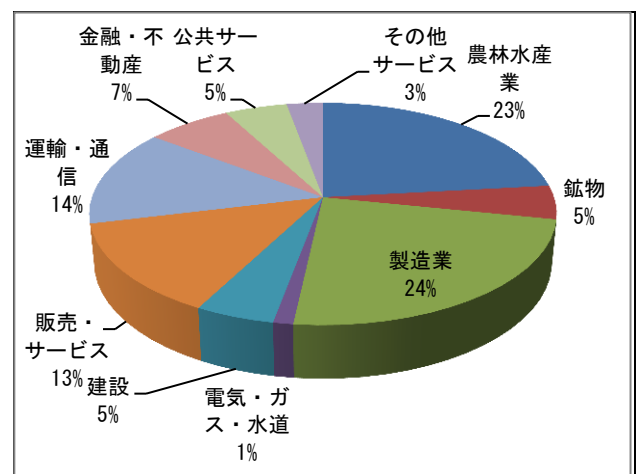
**主な出来事**

- WHO(世界保健機構)の支援のもとでコレラのワクチンキャンペーンが実施される。第一期は24日から28日、第二期は10日13日から16日にかけて実施される予定である。
- 日本と世銀の支援による「大湖地域の栄養改善および食糧事情の改善のための農業プログラム」の署名式が7日に催された。世銀が1億5千万ドルの借款、日本が270万ドルの無償資金協力である。
- 経営再建計画を策定中のBIACの買収にある中国企業が興味を持っていることが明らかになった。企業名は明らかにされていない。ケニアの商業銀行なども買収に興味を示しており、BIACの経営状態の詳細な把握のため、現在デロイト社が監査を実施している。

	主なマクロ経済指標	2015年	2016年9月
1	人口(百万人)	74.88	-
2	失業率(%)	NA	-
3	実質 GDP(百万ドル)	22,947.33	-
4	名目 GDP(百万ドル)	37,393.23	-
5	一人当たり GDP(ドル)	524.16	-
6	GDP 成長率(%)	7.7	-
7	インフレ率(%)	1.37	4.127%(2016年目標4.2%)
8	貿易収支(百万ドル)	550.89	-
9	輸出(百万ドル)	10,325.28	-
10	輸入(百万ドル)	9,774.54	-
11	対外直接投資(百万ドル)	498.13	-
12	対内直接投資(百万ドル)	918.00	-
13	外貨準備高(百万ドル)	1,405.06	996.21 (輸入 4.40 週間分)
14	対外債務残高(百万ドル)	NA	-
15	為替レート(対ドル)	925.99	1040.00
16	主要政策金利(現行、年利%)	2.00	2.00

(2015年データ出典:コンゴ(民)中央銀行(ただし人口のみ世銀2014年))

GDP セクター別構成比(2015年)



(出典: OECD African Economic Outlook 2015)

## **経済**

### **1. 市場（鉱物・資源関係）**

#### **（1）中国企業の武装勢力支援：イトゥリ州**

イトゥリ州の市民グループはマンバサ地域で操業している中国の金採掘企業が、違法操業をしているとともに、現地の民兵組織マイ＝マイ・シンバに対して資金および武器提供をしているとして非難した。同企業はブニアから350キロ離れたエプル川沿いで活動しており、治安維持のため、マイ＝マイ・シンバに資金および武器提供を行っているとされている。（8月31日付け Radio okapi）

#### **（2）安徽・コンゴ鉱物投資会社：地元住民への貢献**

東カサイ州で操業している中国の安徽省外経建設グループ（Anhui Foreign Economic Construction Group）とコンゴ鉱物投資会社（SCIM）の合弁企業である安徽・コンゴ鉱物投資会社（SACIM）が現地のチブウェのコミュニティーに毎年20万ドルの支援を実施する。病院、井戸、学校建設などが実施される。（28日付け Radio okapi など）

### **2. 市場（インフラ・農業・投資・金融など）**

#### **（1）航空部門：コンゴ航空会社**

2015年11月に就航したコンゴ航空社は現在経営のスリム化政策を実施している。400人の従業員に対する給与支払いが滞っており、250の人員を削減する予定である。（13日付け Reference など）

#### **（2）6月30日通り：排水溝設置工事**

陥没事故が発生し、長らく交通規制が敷かれていた6月30日通りのソシマツト交差点付近の一区画で、排水溝の設置および改修工事が実施されている。同事業は中国のCREC8社により2ヶ月間の予定で実施されているが、道路修復工事の費用が230万ドルであることが判明した。（14日付け mediacongo など）

#### **（3）BIAC：中国企業が関心**

コンゴ中央銀行（BCC）の支配化に入り経営再建計画が策定されているBIACであるが、BIACの買収にある中国企業が興味を持っていることが明らかになった。同企業の名は明らかにされていない。ケニアの商業銀行なども興味を示しており、BIACの経営状態の詳細な把握のため、現在デロイト社が監査を実施している。（16日付け mediacongo など）

#### **（4）タンザニア港湾公社：ルブンバシ地方当局との会談**

タンザニア港湾公社の一行は滞在先のルブンバシで当局と会談し、ダルエスサラーム経由コンゴ（民）向け貨物の輸送量を増加させるため、コンゴ（民）が課す様々な税や使用料の削減を要求した。現在、コンゴ（民）の多くの事業主はドバイからの貨物輸入は南アフリカのダーバン経由を選択している。（22日付けACP）

#### （5）マタタ首相のセメント工場視察：コンゴ中央州

マタタ首相は27日、ボンゴンゴ予算大臣、ヤブ財務大臣、バハティ国家経済大臣とともにコンゴ中央州ソングロロとキンペセで建設中のセメント工場を視察した。総額7億ドルの事業である。11月の稼働開始を予定しており、年間300万トンのセメント生産能力を有する。（28日付けACP）

#### （6）観光産業：低いGDP貢献

27日の国際観光デーで発表された報告書によると、コンゴ（民）の観光産業のGDPへの貢献度は非常に低く、2015年の350億ドルのGDPのうち0.7%しか貢献していない。ムティリ観光大臣は観光産業の発展に力を入れており、各国からの投資を呼びかけるとともに、世界の中でもとりわけ高いといわれるコンゴ（民）へのビザ申請料などの改訂を強く推奨している。（27日付けRadio okapi など）

### 3. 財政・マクロ経済・行政など

#### （1）トロイカ戦略会合の要旨

28日に催された、首相以下、予算大臣（国務大臣兼任）、国家経済大臣、財務大臣、中央銀行（BBC）総裁等が出席するトロイカ戦略会合の主な内容は以下のとおり。

#### インフレ率

2016年度目標4.2%に対し4.127%

#### 対ドル為替市場（28日付け）

銀行間レート1,040.00コンゴ・フラン、市中レート1,137.47コンゴ・フラン

#### 外貨準備高（18日付）

9億9,621万ドル、輸入額の4.40週間分

#### 政策金利

2%から7%へ変更

#### 国庫残高（28日付）

年間の積算赤字は3,638億コンゴ・フラン

#### 4. 対外関係・その他

##### (1) コレラワクチンキャンペーン：保健省

政府は20日、流行するコレラ対策のため、WHO（世界保健機構）の支援のもとでワクチンキャンペーンを実施すると発表した。第一期は9月24日から28日、第二期は10月13日から16日にかけて実施される予定である。（21日付け Observateur など）

##### (2) フランス関係

23日から24日にかけて、フランス・アフリカの経済活動活発化のための経済フォーラムがパリで開かれる。フランスおよびアフリカの各首脳を始め、2,300以上の企業が参加する。（12日付け ACP）

##### (3) 黄熱ワクチンキャンペーン：中国の援助

17日から実施される予定の黄熱ワクチンキャンペーンに対し、中国が20万ドルの資金援助を決定した。（15日付け Les Dépêches de Brazzaville）

#### 5. 対日経済・開発協力関係

##### (1) 日本・世銀：大湖地域の農業支援

ヤブ財務大臣は7日、日本と世銀の協力による「大湖地域の栄養改善および食糧事情の改善のための農業プログラム」に署名した。世銀が1億5千万ドルの借款、日本が270万ドルの無償資金協力である。世銀の融資は国際開発協会（IDA）の第17次増資に基づいて実施される6年間で0.5%金利の融資である。（7日付け Radio okapi）